令和６年１月１２日

報道関係者各位

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学

令和５年度フードバレーとかち人材育成事業
「農業経営者セミナー」開催のご案内

帯広畜産大学と帯広市は、平成 24 年度からフードバレーとかち人材育成事業を共同事業として実施しています。

この度、農畜産業を取り巻く環境の変化とその対応を通して発展していくための話題提供として、下記のとおり農業経営者セミナーを開催いたします。

農畜産業は様々な経営リスクを抱えているなかで、生産力向上と持続性の両立が求められています。一方で、実際の取り組みには未だ課題が多いのも事実です。本セミナーでは、農畜産業に従事する方、また関連産業に従事する方を対象に、未利用資源や堆肥の利活用はもとより、6 次産業化や SDGs への対応など「持続可能性」を主テーマとして昨今の研究と事例を紹介していきます。

つきましては、周知及び当日の取材について、よろしくお願い申し上げます。

記

目　　的：農業者に求められる持続的農畜産業の実施に向けて課題を共有する。
日　　程：①2 月 1 日（木）　②2 月 7 日（水）　③2 月 15 日（木）　④2 月 21 日（水）
時　　間：18:00～20:00（③のみ 18:00～19:30）
会　　場：帯広畜産大学　産学連携センター（帯広市稲田町西 2 線 11 番地）
受講方法：会場受講または Web 受講（Zoom）
定　　員：各 40 名程度
受 講 料：各セミナー 3,000 円（全受講の方は 12,000 円）
　　＊データ通信料は各自ご負担ください。
修了証書：4 回のセミナーを全て受講した方に、修了証書を発行いたします。
締　　切：令和 6 年 1 月 26 日（金）
申込方法：以下の申込フォームまたはチラシの受講申込書よりお申込みください。
　　申込フォーム URL：https://forms.gle/z2JwNSNemMFQNQyP7
主　　催：帯広市・帯広畜産大学

○研修内容

第１回「SDGs とは何か」

国連が定める SDGs（持続可能な開発目標）の概要を理解するとともに、農畜産業の関わりについて解説

講師：帯広畜産大学 環境農学研究部門 教授　岩本　博幸

「バイオ炭の農地投入と炭素貯留クレジット」

みどりの食料システム戦略におけるバイオ炭の農地施用クレジットの取り組みについて紹介

講師：NPO 法人森林未来研究所 理事長　春日　隆司

第２回「『循環型農畜産業』メタン発生の抑制・未利用資源の利用」

未利用資源の飼料化に関する研究、反芻家畜から排出されるメタンに関する研究について紹介

講師：帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 教授　西田　武弘

「自給飼料の確保による効果と『活かす』ための飼養管理」

自給飼料の確保による経済的な効果への期待と、効果を発揮するために求められる飼養管理について解説

講師：帯広畜産大学 環境農学研究部門 准教授　三宅　俊輔

第３回「経営多角化とその一手としての６次産業化」

経営多角化の必要性、6 次産業化の強みと弱みから考える取り組みへの課題を、実践事例を交えて考察しましょう

講師：足寄ひだまりファーム 代表者　沼田　正俊

第４回「堆肥から考える持続可能な農畜産業とは？」

堆肥を使う重要性とその堆肥利用がもたらす効果、堆肥化からの温室効果ガス排出量の削減による畜産の持続可能性について解説

講師：帯広畜産大学 環境農学研究部門 教授　宮竹　史仁

「バイオガス発電と余剰熱の活用」

循環型酪農を目指したバイオガス発電と排熱を利用したバナナ・メロン栽培の取り組みについて紹介

講師：友夢牧場 代表取締役社長　植田　昌仁

【お問い合わせ先】
帯広畜産大学教務課　社会人教育係
フードバレーとかち人材育成事業事務局（担当：和知）
TEL 0155-49-5575
E-mail：f-jinzai@obihiro.ac.jp

主催：帯広市・帯広畜産大学

令和5年度フードバレーとかち人材育成事業 農業経営者コース

農業経営者セミナーのご案内

農畜産業を取り巻く環境の変化とその対応を通して発展していくための話題提供として、農業経営者セミナーを開催いたします。本セミナーでは、農畜産業に従事する方、また関連産業に従事する方を対象に、未利用資源や堆肥の利活用はもとより、6次産業化やSDGsへの対応など「持続可能性」を主テーマとして昨今の研究と事例を紹介していきます。

日　程	第1回 2月1日(木)・第2回 2月7日(水)・第3回 2月15日(木)・第4回 2月21日(水)
時　間	18:00～20:00（2月15日のみ18:00～19:30）
会　場	帯広畜産大学 産学連携センター(帯広市稲田町西2線11番地)
受講料	各セミナー 3,000円（全受講の方は 12,000円） ＊データ通信料は各自ご負担ください。
受講方法	会場受講 または Web受講（Zoom） ＊全4回受講した方に修了証書を発行します。

1

「SDGsとは何か」

国連が定めるSDGs（持続可能な開発目標）の概要を理解するとともに、農畜産業の関わりについて解説

講　師：帯広畜産大学 環境農学研究部門 教授　岩本　博幸

「バイオ炭の農地投入と炭素貯留クレジット」

みどりの食料システム戦略におけるバイオ炭の農地施用クレジットの取り組みについて紹介

講　師：NPO法人森林未来研究所 理事長　春日　隆司

2

「『循環型農畜産業』メタン発生の抑制・未利用資源の利用」

未利用資源の飼料化に関する研究、反芻家畜から排出されるメタンに関する研究について紹介

講　師：帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 教授　西田　武弘

「自給飼料の確保による効果と『活かす』ための飼養管理」

自給飼料の確保による経済的な効果への期待と、効果を発揮するために求められる飼養管理について解説

講　師：帯広畜産大学 環境農学研究部門 准教授　三宅　俊輔

3

「経営多角化とその一手としての6次産業化」

経営多角化の必要性、6次産業化の強みと弱みから考える取り組みへの課題を、実践事例を交えて考察しましょう

講　師：足寄ひだまりファーム 代表者　沼田　正俊

4

「堆肥から考える持続可能な農畜産業とは？」

堆肥を使う重要性とその堆肥利用がもたらす効果、堆肥化からの温室効果ガス排出量の削減による畜産の持続可能性について解説

講　師：帯広畜産大学 環境農学研究部門 教授　宮竹　史仁

「バイオガス発電と余剰熱の活用」

循環型酪農を目指したバイオガス発電と排熱を利用したバナナ・メロン栽培の取り組みについて紹介

講　師：友夢牧場 代表取締役社長　植田　昌仁

【お問い合わせ先】
フードバレーとかち人材育成事業 事務局（担当：和知）
〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地（帯広畜産大学 教務課 社会人教育係）
E-mail：f-jinzai@obihiro.ac.jp TEL 0155-49-5575
URL：https://www.obihiro.ac.jp/facility/ccae/

帯広畜産大学 高度人材共創センター

＊申込み方法・締切は裏面を☞

フードバレーとかち人材育成事業事務局　行

農業経営者セミナー 受講申込書

申込フォームまたは
受講申込書よりお申込み
ください。
https://forms.gle/z2JwNSNemMFQNQyP7

フードバレーとかち人材育成事業 事務局
〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
帯広畜産大学 教務課 社会人教育係
E-mail：f-jinzai@obihiro.ac.jp

募集締切：1月26日（金）

ふりがな	
申込者氏名	
所属機関 （正式名称でご記入ください。）	
連絡先住所	〒
電話番号 （受講時に連絡のつく携帯番号）	
メールアドレス	

受講セミナー記入欄（希望されるセミナーに〇をご記入ください）		
日程・講師	会場受講	Web受講 （Zoom）
2/ 1（木）18:00～20:00 岩本　博幸 ・ 春日　隆司		
2/ 7（水）18:00～20:00 西田　武弘 ・ 三宅　俊輔		
2/15（木）18:00～19:30 沼田　正俊		
2/21（水）18:00～20:00 宮竹 史仁 ・ 植田　昌仁		

【帯広畜産大学 会場案内図】

TEL：0155-49-5575（担当：和知）

※個人情報の取扱いについて、次の事項に同意いただける場合□にレ点をご記入ください。

□ 個人情報の取扱いについて同意します。

【個人情報の取扱いについて】
（１）帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
（２）お申込み時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講に関する連絡等の業務及び本学リカレント教育の案内等を行うためにのみ利用します。
（３）セミナー等をより効果的にするために、講師へ所属機関・氏名を提供することがあります。